

平成 29 年 11 月 14 日



各 位

株 式 会 社 F R O N T E O
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
(コード番号：2158 東証マザーズ)
(NASDAQ ティッカーシンボル：FTEO)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 上 杉 知 弘
電 話 番 号 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

米国子会社で人員の最適化や拠点の再編・統廃合などの構造改革を実施したこと、国内子会社で将来の使用が見込まれなくなった資産について減損損失を計上したことにより、当第 2 四半期に、以下の特別損失 312 百万円を計上いたします。

構造改革費用	277 百万円
減損損失	34 百万円
特別損失 計	312 百万円

米国子会社での構造改革は今後も継続し、第 3 四半期に 21 百万円、第 4 四半期に 133 百万円、通期で 466 百万円の特別損失を計上する見込です。

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,000	百万円 200	百万円 190	百万円 90	円 銭 2.37
今回発表予想 (B)	12,600	200	150	△417	△10.97
増減額(B-A)	△1,400	—	△40	△507	—
増減率 (%)	△10.0	—	△21.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	11,207	△1,206	△1,254	△948	△26.07

修正の理由

平成 30 年 3 月期通期決算につきましては、米国子会社で採算を重視した選別受注を徹底することから売上高が当初の予想を下回る見込みとなりました。

損益面につきましては、米国子会社における人員の最適化、拠点の再編・統廃合などの構造改革および AI 事業における投資効果見極めによる費用抑制の効果によって営業利益は概ね当初の予想どおり推移する見通しであります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、米国子会社構造改革費用を含む特別損失として 466 百万円を計上する見込みなどにより、当初予想を修正しております。

(注) 上記業績予想は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後、為替の変動等様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

以上